

AS

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-292354

(43)公開日 平成7年(1995)11月7日

(51)Int.Cl.
C 09 K 11/08識別記号 廣内整理番号
A . 9280-4H

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数9 OL (全6頁)

(21)出願番号

特願平6-92248

(22)出願日

平成6年(1994)4月28日

(71)出願人 000201814

双葉電子工業株式会社
千葉県茂原市大芝629

(72)発明者 土岐 均

千葉県茂原市大芝629 双葉電子工業株式
会社内

(72)発明者 鹿川 能幸

千葉県茂原市大芝629 双葉電子工業株式
会社内

(72)発明者 片岡 文昭

千葉県茂原市大芝629 双葉電子工業株式
会社内

(74)代理人 弁理士 西村 敏光

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 融光体及びその製造方法

(57)【要約】

【目的】 1 kV以下の低い駆動電圧で駆動される融光表示装置の融光体とその製造方法を得る。

【構成】 高真空状態である管2の内部には、融光体原料又は融光体がキャリアガスに浮遊した状態で導入される。管2の加熱域5を囲んで管2の外周にはRFコイル6がある。キャリアガスに前記加熱域5を通過させ、RFコイル6によって加熱する。加熱域5には高温のプラズマが発生する。プラズマの温度は10000 ℃から15000 ℃と高く、プラズマが発生している加熱域5から外れるとき温度は急速に低下する。融光体又は融光体原料の粒子は互いに分離した状態で急速に加熱され、急速に冷却される。得られた融光体は外径が1 μm以下の範囲で一定に揃った球形である。膜にした際に凝集しにくく充填密度が高いので抵抗が小さい。結晶性が良く、十分な量の発光中心を均一に含み、1 kV以下の低い駆動電圧で駆動される融光表示装置の融光体に適している。

